



JA



JA おとふけ

2025年度
農協案内

OTOFUKE



2025

INFORMATION
BROCHURE



音更町農業協同組合

OTOFUKE TOWN AGRICULTURAL COOPERATIVE





代表理事組合長

土田 純雄

Sumio Tsuchida
JA Otofuke President

わたしたちは北国の四季を収穫します。

JAおとふけは、昭和23年4月14日音更村農業協同組合として設立され、地域に根ざした大型総合農協として発展してきました。

当JAIは、十勝平野の中心部に位置し、小麦、豆類、馬鈴しょ、てん菜を中心とした畑作物を18,645ha作付けし、日本でも有数の穀倉地帯を担っています。また、人参、長芋、玉葱、ブロッコリーなどの野菜振興にも力を入れています。

酪農、畜産も盛んであり、生乳は年間約47,000tを生産しています。

利用施設では、小麦の品質向上と効率化を目指して平成23年に小麦乾燥調整貯蔵能力の大船アップを図り、現在の小麦の受入体制を構築しました。

平成30年に豆類貯留調整施設並びに低温貯蔵施設を増設し、豆類の更なる生産振興と、多様なニーズへの対応強化及び契約販売率向上などを図るとともに、高品質製品の安定生産・安定供給体制を構築しました。

青果では、平成16年に、玉葱・長芋貯蔵施設を、平成18年には人参洗浄選別子冷蔵施設を整備し、集出荷選別施設の充実が図られています。

平成27年には、家畜糞尿や野菜残葉から再生可能エネルギーを生産するバイオガスプラントを建設し、平成28年より売電を開始しました。この施設の稼働は臭気対策、環境汚染防止対策とともに循環型社会の実現を図るものとなります。

労働力不足に対応した労働力支援、有機物や石灰資材などの土壌改良資材の投入や暗渠排水をはじめとした土壌基盤整備、耕畜連携の推進、スマート農業の推進などを積極的に行っています。

地域にJA及び農業を理解してもらう活動として、ホームページや公式YouTubeチャンネルの開設、道路わきのゴミ拾いなどボランティア活動も積極的にを行っています。

純農村地帯の中で、金融事業にも力を入れており、組合員の経営安定、生活向上はもとより、地域との共存共栄による協同組合事業を通して地域の発展のため鋭意努力しています。

令和5年4月より本部事務所の新築工事を開始し、令和6年7月16日から新本部事務所の営業を開始しました。今後も地域に根ざしたJAとして、持続可能な農業と協同の力で、豊かな地域社会の実現を目指し歩みを続けていきます。

We harvest the four seasons of the Northern country.

Established on April 14, 1948, as Otofuke Village Agricultural Cooperative, JA Otofuke has since developed into a large, community-based, comprehensive agricultural cooperative.

Located in the heart of the Tokachi Plains, JA Otofuke is a key player in one of Japan's foremost breadbaskets, where wheat, beans, potatoes, sugar beets, and other winter crops are grown on 18,645 hectares of fields. The JA is also dedicated to promoting vegetables such as carrots, ginseng, yam, onion, and broccoli.

Otofuke is also known for dairy and livestock farming, with approximately 47,000 tons of fresh milk produced annually.

To improve wheat quality and increase efficiency, we significantly upgraded our wheat drying, preparation, and storage capabilities in 2011, establishing our current wheat handling system.

In 2018, we expanded our bean storage and preparation facility as well as our bean cold storage facility. This expansion aims to further promote bean production, strengthen our ability to meet diverse needs, and increase contract sales rates while establishing a stable production and supply system for high-quality products.

In the vegetable section, facilities for collection, shipment, and sorting were improved, including the construction of an onion and Chinese yam storage facility in 2004 and a carrot washing, sorting, and precooling facility in 2008.

We built a biogas plant in 2015 to generate renewable energy from livestock manure and vegetable scraps, starting to sell electricity in 2016. This facility not only helps to reduce odors and prevent environmental pollution but also contributes to realizing a recycling-based society.

We are actively engaged in efforts to combat labor shortages through workforce support, improve soil infrastructure, including the utilization of subsoil drainage and soil conditioners like organic matter and lime materials, and promote smart agriculture as well as cooperation between crop and livestock farmers, among other initiatives.

In order to foster an understanding of Japan Agricultural Cooperatives (JAI) and agriculture within the community, we have established an official website and YouTube channel while actively engaging in volunteer activities like roadside litter collection.

In this truly rural area, we are also focusing on financial services. In addition to aiming to stabilize business management and improve our cooperative members' quality of life, we are committed to local development through cooperative association business based on coexistence and mutual prosperity with the local community.

Construction of our new head office building began in April 2023, and we commenced operations there on July 16, 2024. Moving forward, as a JA rooted in the community, we will continue striving to achieve a prosperous local community through sustainable agriculture and the collective strength of cooperation.



音更町は、北海道の広大な十勝平野の中心部に位置し、十勝川を挟んで町広野の北側に隣接しており、町内の中では全道一の人口を有する気候に恵まれたまちです。また、北海道産に認定された世界でも珍しい「モール海草」が湧き出す十勝川湧泉や、日本大層温泉をはるかに望める美しい自然環境はとて魅力が高く、四季を通じて観光客で賑わいます。

●音更町概要

令和5年5月現在

位 置 東経143°02'~143°22'

緯 度 北緯42°55'~43°10'

面 積 466.02平方km

東 西 28.7km

南 北 32.8km

人 口 42,461人(男性20,139人/女性22,322人)

世帯数 21,044世帯

組織概要 JA Otofuke Outline

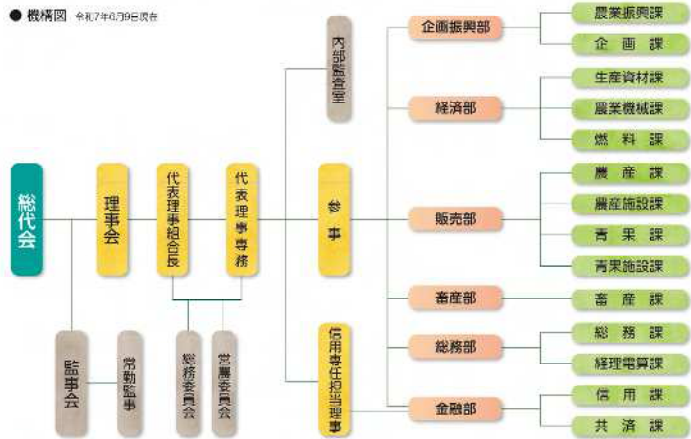
令和7年3月31日現在

設立	昭和23年4月14日
地区	音更町一円
正組合員戸数	475戸
組合員	2,230名 正組合員1,044名 准組合員1,186名
出資金	43億9259万円
自己資本比率	29.67%
役員	理事15名 監事5名 職員174名 (男性131名 女性43名)

● Foundation 14th April 1948
● Area Throughout the Otofuke town
● Household numbers of the cooperative members 475
● Members of the cooperative 2,230
Official members 1,044
Associate members 1,186
● Capital 4.3 billion yen
● Equity capital ratio 29.67%
● Numbers of directors and employees
Directors 15 Auditors 5
Staff 174 (Male 131 Female 43)

常設委員会	総務委員会6名 営農委員会6名
地域農業振興協議会	13地域
組合員組織	● 地域農業振興協議会 ● 女性部 ● 青年部 ● 小麦生産振興会 ● 馬鈴しよ生産振興会 ● 密策対策協議会 ● そ菜生産振興会 ● 農業機械協議会 ● 地記青色普及会 ● 年金友の会 ● 音更町酪農振興会 ● 音更町牛生産改良組合 ● 音更町馬事振興会

● 概略図 令和7年4月30日現在



組織理念 Corporate Philosophy

農業の持つ「つくる」「たべる」「くらす」の要素を協同の力、意志の結集により「つなぐ」ことで「持続可能な地域農業と豊かな地域社会の実現」を目指します。
JA Otofuke aims to achieve sustainable local agriculture and a prosperous local community by connecting the elements of agriculture—producing, eating, and living—through the collective strength and will of cooperation.



● シンボルマーク



JAおとふけの心
The heart of JA Otofuke



「農業者の心」「JAおとふけの心」「消費者の心」を表す3つのハートの重なりから構成され、外に向かって広がるような造形は、「前進・発展・繁栄」を表現しています。

The logo features three overlapping hearts, representing the heart of farmers, the heart of JA Otofuke, and the heart of consumers. The outward-expanding design expresses progress, development, and prosperity.

● キャッチコピー わたしたちは北国の四季を収穫します。

組織概要

事業実績

フロンティア意識

主要施設①

主要施設②

主要施設③

JAおとふけの事業 Business

JAおとふけは、地域の農業振興に向けて農業者を対象とした事業を基本としつつ、地域社会に向けても幅広い事業を展開し、地域に貢献できるよう取り組んでいます。

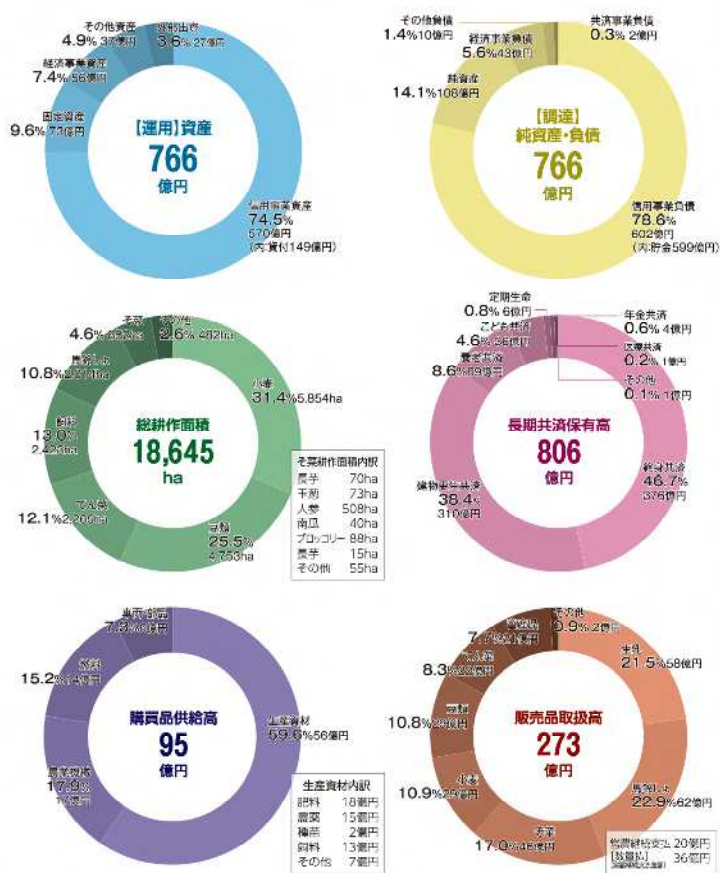
JA Otofuke focuses on agricultural promotion for local farmers while also engaging in a wide array of activities to benefit the local community, contributing to the well-being of the people and the prosperity of the community in Otofuke Town.

農業振興課・企画課 農業者の営農活動、生活に関するリボ ーや農家のPR活動を行っています。 ●農業経営支援 ●労働力支援 ●土地政策支援 ●JAコネク ●スマート農業の推進 ●食料政策 ●食料自給率 ●生活に関する支援 ●農業政策調査 経費補助金申請	生産資材課・農業機械課・燃料課 農業資材・自動車・農業機械・燃料など種 々取扱いしています。 ●生産資材の供給 ●トラクター・農機具・農機具の回収 ●農業機械修理 部品 修理 ●農業機械修理 部品 修理 ●自動車・農業機械販売 ●加工製作修理 ●油圧などの供給 ●カーライフサポート	農産課・農産施設課 青果課・青果施設課 農産物の生産に関する相談、推進及び 生産、運搬、貯蔵、販売を行っています。 ●農産物の生産に関する相談、相談 ●運搬・貯蔵の生産、供給 ●施設の管理 ●農産物の生産、運搬・貯蔵、保管、出荷 ●農産物の販売 ●自給自足の生産活動
畜産課 畜産経営に関する相談や、乳牛・乳肉牛の 飼育・育成・繁殖、畜産経営を行っています。 ●乳牛・乳肉牛の飼育 ●乳牛の飼育及び繁殖 ●肉用牛の生産に関する相談と販売 ●畜産経営支援 育成・繁殖の支援 ●畜産政策調査 経費補助金申請	信用課・共済課 ニーズに合わせた金融商品を提供し、農業者 の生活に役立ててもらうための相談を行っています。 ●貸付 融資 融資 ●ATMサービス ●貸付 融資 融資 ●ATMサービス ●農業生活資金融資 ●年金・生活資金融資 ●地方公共団体等への融資 ●JA共済への加入支援	総務課・経理課・総務課・内部監査室 自己資本の拡充による財務基盤の充実と、 リスク管理、経営戦略の推進に努め、 健全経営を営んでいます。 ●総務課に属する業務 ●組合員に関する業務 ●人事労務に関する業務 ●総務課に属する業務 ●経理課に属する業務 ●内部監査

貯金 農業資金はもちろん、貯蓄・投資の機会や事業主の 節税のための貯蓄をお勧めしています。	共済 「ひといえる共済」の組合員様で、お客様の暮らし を幅広くサポートいたします。	資金の融資 お客様のニーズに応じた融資のご提案を行って います。お気軽にご相談ください。
金融相談 幅広くお客様のニーズに合わせたスタッフが、農業者の 生活設計に合わせた金融商品をご提案いたします。	整備工場 車の販売のほか、自動車、トラックなど幅広い車種 の車検整備や修理を行っています。	ガソリンスタンド ガソリンや軽油、灯油、プロパンガスを供給する 他に、各種カー用品の販売も行っています。
インターンシップの受入 中高生・大学生のインターンシップを受け入れています。	出資金 休耕田には助成金が市町村にある方なら、1口 1,000円からの出資で組合員になることができます。	資材センター 肥料、農薬、小農具、作業服など農業に必要な資 材の供給をはじめ、さまざまなサービスを行っています。

事業実績 Results

●財務の構成 令和6年度実績 (注) 前年度実績及び前年度は、億円は半端切りで示しておりますので、合計すると超過する場合があります。



組織・政策・理念

事業実績

ブランド・地域貢献

主要施設

主要施設

主要施設

JAおとふけブランド JA Otofuke Brand

十勝平野の中心部に位置し、小麦・豆・馬鈴しよ・てん菜を基幹作物に日本有数の穀倉地帯を担う音更町。
人参・長芋・玉葱・ブロッコリーをはじめとした野菜振興、酪農・畜産にも力を入れ、JAおとふけブランドとして全国に送り出しています。

Located in the heart of the Tokachi Plain, Otofuke Town serves as one of Japan's foremost breadbaskets with wheat, beans, potatoes, and sugar beets as its staple crops.

JA Otofuke also promotes vegetables such as carrots, Chinese yams, onions, and broccoli, as well as dairy and livestock farming, distributing products nationwide under the JA Otofuke brand.



小麦

秋に種を播き、翌年の夏に収穫する「きかほふみ」として無農薬に育てた広葉を多く栽培しています。



馬鈴しよ

生食用の「新銀葉」、「メークイン」、加工用の「ホヨシロ」、「きたむね」、でんぷん原料の「コナヒメ」などを栽培しています。



人参

近郊工場で人参を冷やすことで鮮度と栄養分を保持する「コールドチェーン」に取り組んでいます。



玉葱

長期出荷するため、晩早生から貯蔵性に優れた品種まで、パワンスよく栽培しています。



大豆

音更で輸出されている大豆の主なものは、インフラポンや有半が多い「音更大粒大豆」、「ユキホマレ」などが多いです。



小豆

種栽培から「エリモシヨウ」や「きたるまん」などが栽培されており、低減貯蔵で保蔵し、徹底した品質管理を行っています。



黒豆

栄養価が高く、健康維持に不可欠な食品。音更では、粒が大きく、煮崩れの少ない「いわいくる」を中心に栽培しています。



金時豆

音更町の金時豆は、約の大きさ、皮の表から皮などが食品加工でよく評価されています。



長芋

優良な長芋を生産するため、音更では有閑長芋系(竹の葉)の農業者が活用しています。



ブロッコリー

日本有数のブロッコリー産地としても知られています。



牛乳

酪農家が円滑に育ててきた牛たちから採れた牛乳は、圧搾機で栄養満点です。



肉牛

冷凍食肉と生肉の両方で高い評価を得る「音更町ずらん和牛」というブランド牛を生産しています。

JAおとふけの地域貢献 Local Contribution

JAおとふけは、音更農業の発展と組合員の生活向上とともに、地域の人びと、地域社会への貢献に向けて、食育・農育活動やイベントの開催、ボランティア活動などの様々なサービスを通して、地域の皆様に親しまれる活動を積極的に展開しています。また、各種団体への寄付、イベントへの協賛などを通して、地域活動を支援しています。

JA Otofuke is dedicated to the development of agriculture in Otofuke and the improvement of its members' quality of life. In addition to these efforts, it engages in various activities for local people, including shokoku (food and nutrition education), agriculture education, and events to benefit the local community, as well as services like volunteer work. The JA also supports local activities through donations to various organizations and sponsorships of events.



親子料理講習会

音更町の小学生を対象とした親子料理講習会を開催。音更産食材の美味しさと調理方法について親子で楽しく学びます。



食農教育総合プログラム

音更町と協力し、子どもたちに食と農のつながりや、畑で作物を作る楽しさ、面白さを伝えています。作物の成長を通じて農業に興味を持ってもらいます。



音更ふるさと農村絵画コンクール

音更の農業や農村の風景を描くことで、農業の大切さを伝達してもらうことを目的として行います。



親子わくわく農業体験

消費者との交流を目的に、農業者の皆さんとで組織する音更町主催の農業体験。野菜収穫や音更産食材の料理体験などを行っています。



地域特産品イベントに参加

音更町で行われる地域イベントにも積極的に参加し、音更産食材の美味しさと安全性を伝えています。



地域の清掃活動

クリーンアップ音更の会に協力し、音更で暮らす市民のみなさんに、市内の清掃活動に積極的に参加していただきます。



おとふけ給食

子どもたちに給食を通して、音更産の農産物の美味しさを、安全を確保しながら音更町の誇りに感じてもらう。



福祉団体への寄贈

女性部活動の一環として、地域の福祉団体へタオルやインナーカバーの寄贈を行っています。



社会福祉活動

音更町社会福祉協議会の活動に賛同し、古物・ベビーマーク・着せ替え人形などの寄贈やフードバンク事業、各種行事などの支援を行っています。



JAおとふけは、持続可能な社会(SDGs)を実現しています。

組織概要

事業実績

ブランド地域貢献

主要施設

主要施設

主要施設

JAおとふけ主要施設

The facilities of JA Otofuke

本部事務所は、災害時にも電力供給が可能な太陽光発電や、地下空気を利用した空調システムを取り入れ消費電力を抑えるなど、SDGsを考慮した設備も兼ね備えています。また、組合員の皆様のさまざまな相談に対応できるように相談スペースを確保し、2階には休憩スペースや談話室を設けた造りとしています。

The Head Office building incorporates sustainable features, such as solar power that can supply electricity even during disasters and an air conditioning system utilizing underground air to reduce power consumption. It also includes additional consultation spaces for members, as well as rest areas and a lounge on the second floor.

●本部事務所 4,485㎡（令和8年建築）



● 施設・事業所

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| ● 本部事務局 | ● 種子部監・砂蔵山(伊藤) |
| ● GPS基地局(本部事務局) | ● 種子部監・共同道(坂本) |
| ● 員材センター | ● 種子部監・種子部長(野田) |
| ● エコビオあふけ店
(親水クラシム倉庫) | ● 種子部監・砂蔵山(坂本) |
| ● 鹿座(センター) | ● 北 農 校 農 協 |
| ● GPS基地局(鹿座サイド) | ● 北 農 校 農 協 |
| ● 第1スタンダード | ● バイオガズプラント |
| ● 南基田事務所 | ● GPS基地局(沼和) |
| ● 北沼澤事務所(長田地区環境) | ● GPS基地局(高倉) |
| ● 第2スタンダード | ● GPS基地局(飯沼) |
| ● 燃料備蓄センター | ● GPS基地局(西中庄町) |
| ● 南基田センター | |



農産センターでは、小麦の他にも大豆、小豆、金時豆の調製を行っています。また、JAおとふけ管内では黒鈴しよ、てん菜なども生産されています。こだわりを持って、農産物の生産・調製を行い、安心・安全な農産物を皆様へお届けしています。



- 豆類・密閉型・低温貯蔵施設
(平成30年度版)
- 貯蔵性能
貯蔵密度: 3900.08㎡
低温貯蔵施設: 2228.28㎡
- 処理能力
荷受能力: 受入口2箇所
15t/h×2系列
貯蔵能力: 貯蔵タンク 50t×60箇所
調整能力: 5t/h×2系列
貯蔵能力: 60,000袋



- 貯留調整能力: 1454.8t
● 低圧貯蔵施設: 799.6t
● 処理能力
荷役能力: 10L/hx2系列
貯留能力: 50tx24基
調整能力: 3t/hx1系列
貯蔵能力: 100,000t



● 農産センター（平成27年建設）



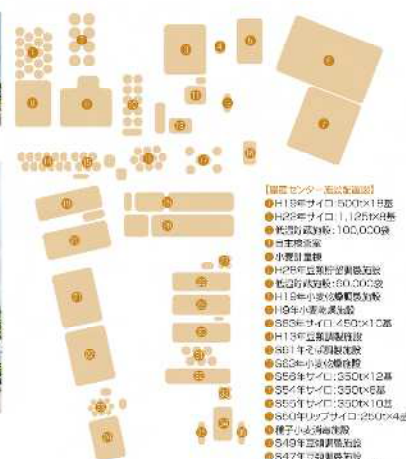
- 小麦乾原料製粉設備(平成20年度建設)
- 採掘能力
 - 荷重能力: 深入口14箇所 10t~50t/h
 - 貯留能力: サイロ80本
 - 収容力: 43,620t
 - 調製能力: 1番施設 10t/h×1系列 4番施設 10t/h×2系列
 - 14番施設 12t/h×2系列



- 小麦サイロ(貯蔵施設)
- 貯蔵能力
9,000t
(1,125t×9基 H22年サイロ)
9,000t
(500t×18基 H19年サイロ)



●小蚕計量施設(平成23年開設)

[illegible]

組織發展委員會

重刊

アドバンス・芸術出版

主編 施淑一

主要施設

主要施設

●青果管理センター

青果管理センターでは、人参、長芋、南瓜、玉葱、長葱、アスパラガスの選別を行っています。また、JAおとふけ管内では、ブロッコリー、ほうれん草などの野菜も生産されています。それぞれの季節で旬な野菜を、新鮮な状態で皆様へお届けしています。

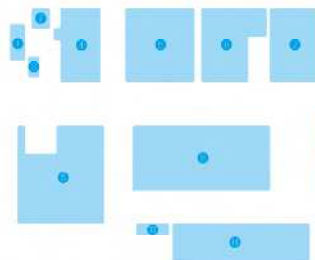
The Fruit and Vegetable Management Center sorts not only carrots but also Chinese yams, pumpkins, onions, green onions, and asparagus. In the JA Otobuke area, vegetables like broccol and spinach are also cultivated. We deliver fresh, seasonal vegetables to everyone.



●人参洗浄選別予冷施設
(平成18年建設)
●延床面積4761.7㎡



●ユードラゲーン
収穫した人参は水を利用した予冷施設で冷却され、その後真空工程の瞬間に水による洗浄、冷却水槽、真空乾燥、そして3℃に設定された製品庫での保管、冷蔵運輸と温度管理を徹底します。



【青果管理センター施設一覧】

- 長芋洗浄選別予冷施設
- 選別機
- 新築機
- 長芋洗浄選別施設
- 貯蔵庫/A層/B層/C層
- 貯蔵庫1/貯蔵庫2
- D棟(中品選別施設)
- 玉葱選別施設
- 人参洗浄選別予冷施設
- 玉葱・長芋貯蔵施設
- トラックスケール
- 青果管理センター事務所
- 緑地帯
- 長葱選別施設
- 良品加工センター



●青果管理センター(平成3年建設)



リサイクル土生成施設(平成24年建設)



●長芋洗浄選別施設(平成3年建設)
●新築平成23年
●機械導入平成27年
●延床面積1,258㎡



●長芋洗浄選別施設
緑地帯コストの削減や生産性による輸送効率の向上を目指し、建設しました。



●南瓜選別施設(平成3年建設)



●玉葱・長芋貯蔵施設(平成18年建設)

わたしたちは北国の四季を収穫します。



JA おとふけ

音更町農業協同組合

- 本部事務所 〒080-0101 河東郡音更町大通5丁目1番地 TEL.0155-42-2131
- 資材センター 〒080-0104 河東郡音更町新通5丁目1番地 TEL.0155-32-4127
- 整備工場 〒080-0341 河東郡音更町字音更西2線13番地6 TEL.0155-42-2203
- 第1スタンド 〒080-0101 河東郡音更町大通1丁目2番地 TEL.0155-31-4030
- 第2スタンド 〒080-0301 河東郡音更町木野大通西19丁目8番地 TEL.0155-31-4030
- 農産センター 〒080-0105 河東郡音更町新通北1丁目1番地 TEL.0155-42-2660
- 青果管理センター 〒080-0341 河東郡音更町字音更西2線15番地4 TEL.0155-42-3021
- 畜産部事務所 〒080-0335 河東郡音更町希望が丘1番地 TEL.0155-42-8724

 <https://www.ja-otofuke.jp>

 mame@otofuke.ja-hokkaido.gr.jp



組合員の皆様やJAの活動が
SDGsのゴールに繋がります
JAおとふけは、持続可能な開発目標
(SDGs)を支援しています。



JAおとふけ
公式サイト



YouTube
公式チャンネル